

2023 年度協会賞審査結果について

私立大学図書館協会
会長校 明治学院大学図書館
館長 助川 哲也
協会賞審査委員会
委員長 有川 浩
(関西学院大学図書館)

1) 推薦の概要

- ・ 種別 第2部（経営管理業績・協会活動業績）
(5)の2 図書館・情報学・大学図書館発展への寄与部門
- ・ 被推薦者 大正大学附属図書館
- ・ 業績 『「学び」と「集い」の図書館に挑む
大学図書館の未来と創造』
大正大学附属図書館著
大正大学出版会 2023年9月13日発行

2) 審査結果

採 択

3) 理由（採否の理由、付帯意見など）

21世紀以降の大学図書館の重要な主題は、ラーニングコモンズの開設を端緒とした「学修支援」であると言われている。当該著作物は、コロナ禍の2020年11月に「総合学修支援施設」としてオープンした大正大学附属図書館職員による、「ポスト・コロナ」における展開も見据えた「学び」と「集い」の取り組みに関する記録であり、本書をとおして、大学図書館の現代的課題である「学修支援」を俯瞰的に把握することが可能となっている。

大学図書館の発展を目指した取り組みにおいて学習指導要領との関わりや文部科学省の各種答申との対応を具体化した部分は、図書館活動の評価の在り方として示唆に富んでいる。学修支援に加え、高大接続、地域連携、組織マネジメントなどの各課題に取り組んでいる、またはこれから取り組もうとしている多くの大学図書館にとって参考となる点が評価できる。

以上のことから、本件は大学図書館発展へ寄与するものと認められ、協会賞審査の申し合わせ事項の採択可否ポイント（ア）、（キ）に該当すると判断し、協会賞に採択する。

以上